【MM　DLd療法（7コース目以降）について】
（ダラザレックス＋レブラミド＋デキサメタゾン）

様　　コース目

お薬の名前と治療のスケジュール（副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目
アセトアミノフェン錠 ニポラジン錠 モンテルカスト錠	副作用を抑える薬です	30～90分前に内服	1回1錠ずつ																												
ハイドロコートン注 デキサート注(20mg/body)	ステロイドです	60分																													
ダラザレックス注(16mg/kg)	抗がん剤です	4～7時間		1回　5カプセル																											
レブラミドカプセル (25mg/body)	抗がん剤です	1日1回　内服																													
デカドロン錠(40mg/week)	ステロイドです	朝　内服		1回 5錠						1回10錠							1回10錠							1回10錠							

治療による副作用

：注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目
自覚症状	アレルギー様症状	発熱や寒気、吐き気、頭痛、めまい、じんま疹、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせください。																												
	食欲不振・吐き気	食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																												
	不眠	寝つきが悪くなる時があります。症状があるときはお知らせください。																												
	胃部不快感	胃の痛みやゲップ、むかつき、腹部膨満感、食欲がないなど、気になる症状があるときはお知らせください。																												
	便秘	水分を多めに摂りましょう。続く場合はお薬で調節した方が良いのでお知らせください。																												
	下痢	便の回数が多くなったり強い腹痛をともなったり、水の様な便が出るときはお知らせ下さい。																												
検査値	白血球減少	感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																												
	赤血球減少(貧血)	貧血の症状（めまい・ふらつき）がでたりします。転倒に注意しましょう。																												
	血小板減少	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																												

以下の副作用は、起こりやすい時期はわかっていませんが、早めの対応が必要な副作用です。気づいたことがあればお知らせください。
●心臓・血管への影響（高血圧、胸の圧迫感、足のむくみ）　●皮疹（皮膚に痒みや発赤などの症状が出た場合はお知らせ下さい

※実際の投与スケジュールと異なる場合があります。
本資料は参考としてお使いください

＊注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
＊上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
＊それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
＊何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

国家公務員共済組合連合会
大手前病院